

# 1次方程式の利用

\_\_\_\_年 \_\_\_\_組 名前

/ 6

- ① あめを子どもたちに配るのに、1人に3個ずつ配ると3個あまり、4個ずつ配ると18個たりない。子どもの人数とあめの個数を求めなさい。

子ども

人

あめ

個

- ② 鉛筆を子どもたちに配るのに、1人に7本ずつ配ると6本あまり、8本ずつ配ると17本たりない。子どもの人数と鉛筆の本数を求めなさい。

子ども

人

鉛筆

本

- ③ いちごを子どもたちに分けるのに、1人に4個ずつ分けると13個あまり、5個ずつ分けると15個たりない。子どもの人数といちごの個数を求めなさい。

子ども

人

いちご

個

# 1次方程式の利用

\_\_\_\_年 \_\_\_\_組 名前

/ 6

- ① あめを子どもたちに配るのに、1人に3個ずつ配ると3個あまり、4個ずつ配ると18個たりない。子どもの人数とあめの個数を求めなさい。

子どもの人数を $x$ 人とする

あめの個数について1次方程式をつくると、 $3x+3=4x-18$

これを解いて、 $x=21$

あめの個数は $3 \times 21 + 3 = 66$ より 66個

子ども  人

あめ  個

- ② 鉛筆を子どもたちに配るのに、1人に7本ずつ配ると6本あまり、8本ずつ配ると17本たりない。子どもの人数と鉛筆の本数を求めなさい。

子どもの人数を $x$ 人とする

鉛筆の本数について1次方程式をつくると、 $7x+6=8x-17$

これを解いて、 $x=23$

鉛筆の本数は $7 \times 23 + 6 = 167$ より 167本

子ども  人

鉛筆  本

- ③ いちごを子どもたちに分けるのに、1人に4個ずつ分けると13個あまり、5個ずつ分けると15個たりない。子どもの人数といちごの個数を求めなさい。

子どもの人数を $x$ 人とする

いちごの個数について1次方程式をつくると、 $4x+13=5x-15$

これを解いて、 $x=28$

いちごの個数は $4 \times 28 + 13 = 125$ より 125個

子ども  人

いちご  個